

2024年7月23日

コニカミノルタ、黄疸測定技術の強化による新生児医療への貢献を目的にノルウェーの Picterus 社との連携を開始

コニカミノルタ株式会社（本社：東京都千代田区）は、1980年に世界で初めて黄疸計を発売して以来、新生児黄疸スクリーニング分野のパイオニアとして世界のリーディングカンパニーの地位を確立してきた。同社の黄疸計「JM-105」は、国内のほぼ全ての産科や産院および周産期病院で使用されており、広く海外でも普及浸透している。

Picterus 社は、スマートフォンを使用した在宅での非侵襲の黄疸スクリーニングツール「Picterus Jaundice Pro」を世界で初めて実用化した企業で、今回の連携は、独自の黄疸スクリーニングソリューションを提供する両社の協力により、お互いが持つ製品・サービスの黄疸測定技術の向上を目的としている。

新生児黄疸とは、生後数日の間に新生児の肌の色が黄色くなる現象でほとんどの新生児に見られ、通常は生後1～2週間で消失するが、病的黄疸がある場合は脳障害を引き起こす可能性があるため治療を必要とする。

コニカミノルタの黄疸計「JM-105」および Picterus 社が提供する「Picterus Jaundice Pro」は、いずれも血液検査が不要で新生児への負荷を抑えながら病的黄疸を早期に発見できる価値の高いスクリーニングツールである。

コニカミノルタと Picterus 社は、連携の第一歩として臨床データ収集において協力する。両社の協力で効率的に収集したデータをお互いの製品・サービスの測定技術向上に活用し新生児がどこでも適切な黄疸スクリーニングを受けられる医療環境を目指していく。